



Noah4をお使いの場合は、Noah4を起動してオーディオグラムなど顧客情報を登録します。
モジュールリストから「COMPASS GPS」を起動し、**4** へお進みください。

1 COMPASS GPSを起動します。

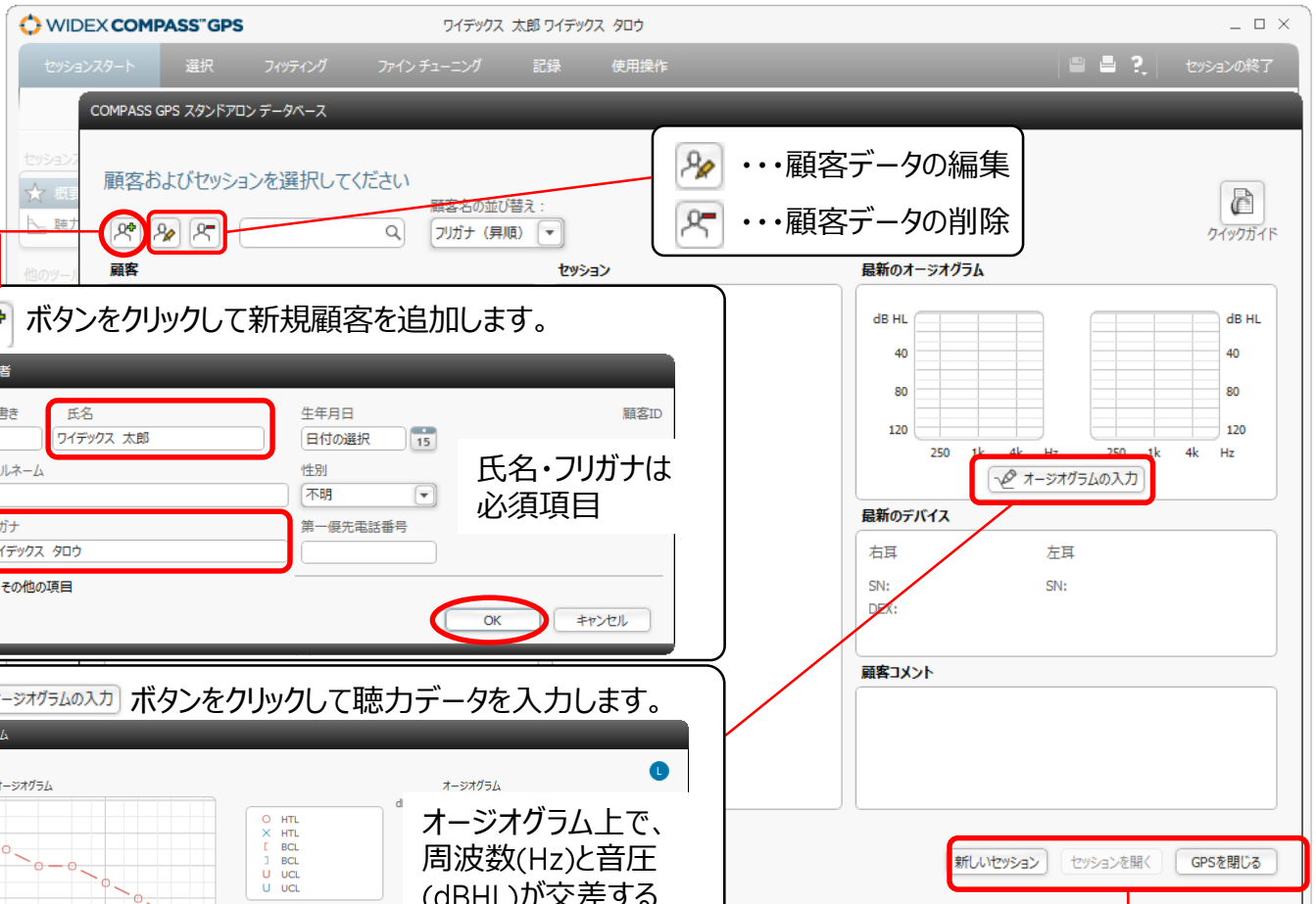


2 「ログイン」ボタンを押して、COMPASS GPS スタンドアロン データベースを開きます。



イニシャル : ADM
パスワード : GPS
(いずれも半角大文字)

3 顧客情報を登録します。
新規フィッティングの場合は「新しいセッション」ボタンを、再調整の場合は保存されているセッションを選択し、「セッションを開く」ボタンをクリックします。



ボタンをクリックして新規顧客を追加します。

担当者

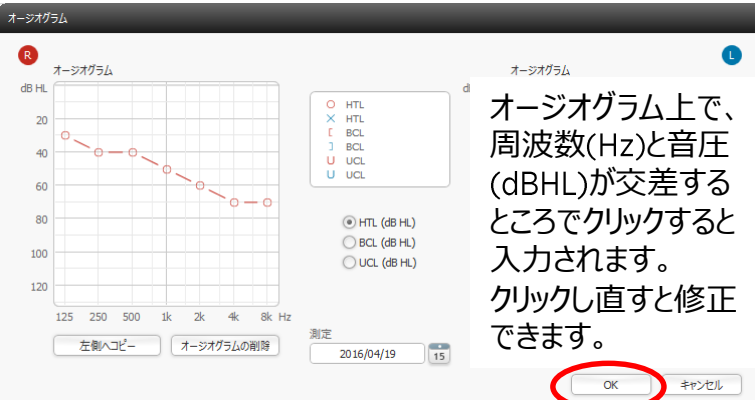
肩書き 氏名 生年月日 15 顧客ID

ミドルネーム 性別 氏名・フリガナは必須項目

フリガナ 第一優先電話番号

その他の項目

オーディオグラムの入力 ボタンをクリックして聴力データを入力します。



オーディオグラム上で、周波数(Hz)と音圧(dBHL)が交差するところでクリックすると入力されます。クリックし直すと修正できます。

... 新規フィッティング
 ... 再調整
 ... GPSの終了

4 フィッティングに使用するインターフェース（USBlinkまたはnEARcom）が選ばれているか確認します。



5 補聴器の電源を入れ、インターフェースの近くに置いて、「接続」ボタンをクリックします。

6 補聴器の左右を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。



7 補聴器の耳せんなどを指定し、「OK」ボタンをクリックします。

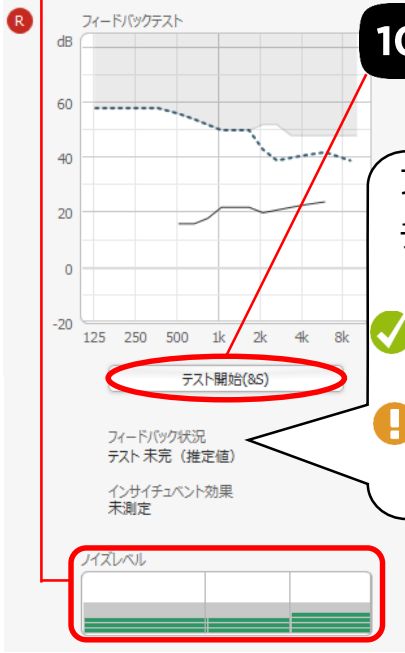


8 「フィードバックテスト」・「センソグラム」測定を行います。



< フィードバックテスト画面 >

9 「ノイズレベル」がすべてグリーンになっているか確認します。



10 「テスト開始」ボタンをクリックし、フィードバックテストを行います。

フィードバックテスト状況

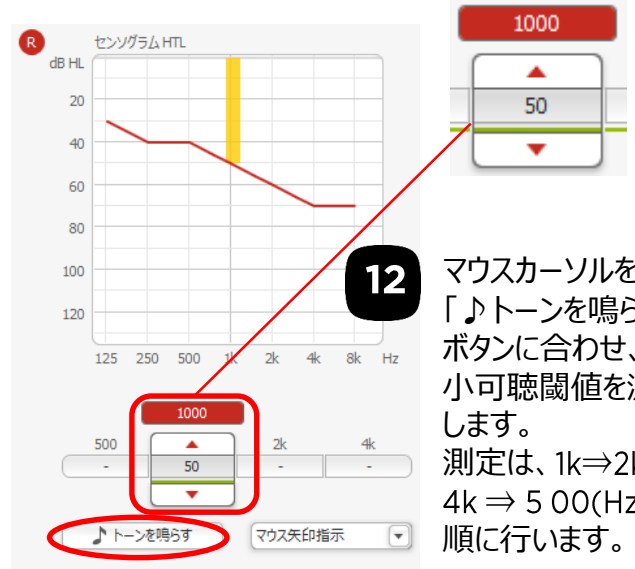
テスト未完：
測定されていません。

✓: 会話聴取に必要なゲインを確保している状態。

! : 会話聴取に必要なゲインを確保できない可能性あり。

< センゾグラム画面 >

11 測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルを合わせます。

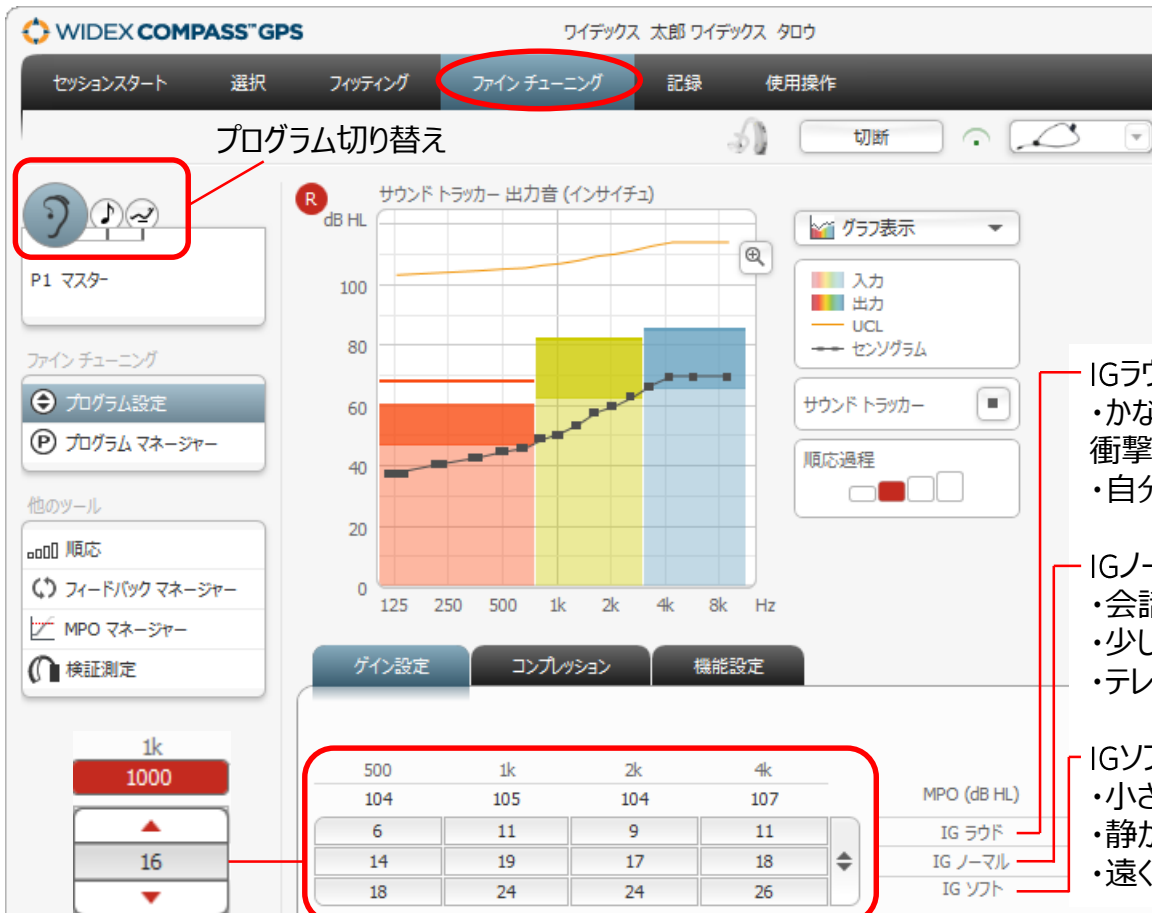


12 マウスカーソルを「♪トーンを鳴らす」ボタンに合わせ、最小可聴閾値を測定します。測定は、1k⇒2k⇒4k⇒500(Hz)の順に行います。

フィードバックテスト結果が悪かった場合

- ① 周りが静かなこと、補聴器の装用具合を確認
- ② 耳せんのサイズやベント径を確認
- ③ グラフで利得を確認
- ④ 会話の音量が足りているか確認
- ⑤ イヤモードやシェルの形状の見直し

13 「ファインチューニング」をクリックし、音の大きさや音質の設定を行います。



IGラウド
・かなり大きな音
衝撃音の聞こえ
・自分の声(低域)

IGノーマル
・会話レベル
・少し大きめの音
・テレビの音

IGソフト
・小さな音の聞こえ
・静かな場所での物音
・遠くの音の聞こえ方

調整する音の大きさ・周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルを合わせます。

14 プログラムを追加する場合は、「プログラムマネージャー」をクリックします。



15 追加するプログラムを選択し、「▶」ボタンをクリックします。



16 プログラムの追加が終わったら、「プログラム設定」をクリックします。

17 DAILY100 (D10) は、TV-DEXを使用することができます。「使用操作」をクリックし、「マッチングの開始」ボタンを押します。

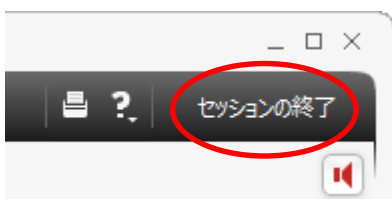


TV-コントローラーの電源は入れずに、上下のボリュームボタンを押し続けます。

※ マッチングの前にTV-コントローラーの充電を済ませておいてください。



18 調整が終わったら、「セッションの終了」で COMPASS GPSを終了します。



調整データは、Noah4やGPSスタンドアロンデータベースに保存されます。